

私たちが入職して

菅 勇人



私があみに入職して、楽しいこともありますが大変なこともあります。私は、介護が未経験であり福祉の学校も出ていません。しかし、入職してから先輩方が丁寧、一生懸命に基本的なことから教えてくださったおかげで、介護のしごとを段々と少し

ずつ覚えることができています。介助方法だけではなく、シーツ交換やオムツ交換なども覚えることができ、とても勉強になっています。介助をするときは、体力はもちろん必要ですが、「命を預かっている」「事故を起こさない様に、失敗しない様に」と精神力も必要だと感じています。しかし、利用者様から「ありがとう」等の声をかけて頂けることがとてもやりがいを感じております。介護のしごとを選びそしてあみに入職できたことをうれしく思って仕事をしています。私のように未経験でも意欲さえあれば



丁寧に教えて頂ける環境があるので大丈夫です。

深井亮



私は、あみに就職し最初は利用者様の名前を覚えるのに苦労しました。もともと人の名前を覚えるのが苦手でしたが、利用者様の方々と接していると徐々にその方の特徴が分かり自然に覚えることができていました。介護の

しごとは、シーツ交換、食事介助、排泄、入浴などをやるのだと聞いていたので、ある程度は想像できていましたが、実際は利用者様とのコミュニケーションが大切で自分の思いとおりに出来ない事を感じ、とても難しく感じています。

また、未経験な事や無知な事でどの業務も大変でした。特に、おむつ交換が大変でパットの位置を合わせることに戸惑い、力づくで行ってしまったことや横モレしてしまう事もあり大変でした。しかし、先輩職員からのコツを教えて頂く事、回数をこなすうちに出来るようになり、



楽しく感じる事が出来るようになりました。働く環境として、話しやすさ、間違っている際にしっかりと注意して下さるのでとても良い環境にあり自分も勉強をさせて頂いています。



佐藤文香

あみに入職して3ヶ月ほどになり、最近では遅番や早番などの業務を覚えるように先輩職員の指導のもと行なっています。業務的には、移乗や介助、コミュニケーション、シーツ交換などの衛生面の業務などを基本とし業務をおこなっています。

どうやれば安全にトイレ介助が出来るだろうか、移乗の際の車イスの位置をどこに置けばスムーズに行なえるか、また決められている時間もある中でいかに早く丁寧にかつ安全に出来るかを考えながら、専門学校での教科書通りではなく、毎日が試行錯誤で大変なところもあります。しかし、うまく行えた時の達成感、自信につながることもあります。また、「ありがとう」や「いつも頑張っているね」と利用者様から一言がやりがいを感じたり、



幸せだと思ふ瞬間です。あみに入職して仕事の大変さも含めて自分に喜びを感じさせてくれています。自分はあみに実習中にお世話になり就職先に決めました。今後も、自分がスキルアップ出来るように頑張ります。ぜひ、実習中に多くの事を吸収し、学生生活を満喫し自分に合った就職先を見つけてください。